

とのまるくん
(殿ダムイメージキャラクター)

因幡のくにの夢づくり

とのまる通信

第6号
2002・3・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県岩美郡国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

雪上運動会

最後だが…
あらだな始まりを予感をさせる

毎年恒例、
国府町大茅小学校の雪上運動会！
大茅小は3月末で閉校となるため、
学校行事として行われるのは今年最後。
しかし、今回は4月から国府東小で
一緒に勉強する事となる
成器・谷の両小学校の
児童・保護者も特別参加し、
一足早い交流イベントともなった。
今までにない大人数での運動会に
子供たちはみんな大喜び！
今回は雪をもとかすほどの
熱気あふれる
雪上運動会の様子をお伝えします。



競技「天までとどけ」の優勝チーム



オ～～
落とすなよお～



前日までの積雪わずか5cm。雪のある所なら田んぼでも行うぞ！

2月9日、運動会を翌日に控え、準備ばたん！のはずが、肝心の雪が少ない。校庭には土が見え、今ある雪もとけ出しそう。そんな状態にもかかわらず、「校庭に雪がなければ、雪のある裏のグレンデや田んぼでも行いますよ！」と是が非でも今年の雪上運動会を成功させたい河口尚史校長。

それもそのはず、大茅小学校は、3月末で閉校となるため、今回が最後の雪上



成器・谷小の校長先生も参加。



運動会となるのだ。
大茅小は明治6年創立、多い時(昭和22・33年)

には215人の児童がいたが、年々過疎化が進み、現在の全校児童数はわずか13名。少人数ゆえに、学年の別なくみんな仲良く、全校児童でよく課外授業も行った。地域の人との交流も盛んで、今年で26回目となるこの雪上運動会も地域の人たちと共に作りあげてきた学校行事。

今年は四月から一緒になる成器・谷の両小学校の児童も参加することもあり、最後となる雪上運動会に寄せる河口校長の思いはひとしおのようだった。



魔法がかかった大茅！

2月10日、雪上運動会当日。「わあ～うそみたい！雪が積もってる～！」神様が魔法をかけたかのごとく、一夜のうちに雪が積もり、一面白銀の世界！鳥取市内で約3cm、大茅地区は約15cmの積雪となり、関係者一同大喜び！最高のグランドコンディションとなった。



児童、大人混合のリレーはお互い真剣そのもの。

押さず！



地域の人たちの手によって作られたゲレンデから、プラカードを持ってすべりおろるのが、毎年恒例、雪上運動会開会のセレモニー。

苦痛な雪を逆手にとって

全国的にも珍しいこの雪上運動会は、昭和51年、石谷照美校長の時代から始まった。発案者は、当時体育主任であった橋本慎一先生。(現在、西伯郡中山小学校の教頭)橋本先生に発案のきっかけを伺った。

「大茅地区は雪深い所で、私が通っていた当初、最高で約2m40cmほど雪が積もった事があるんですよ！そんな所ですから、地区の人たちにとって雪は、除雪や雪おろしなどをしなくてはならない苦痛極まりないものでした。しかし、昭和49年、役場や地元の方々のご協力のもと、校庭裏にあったスキー場が拡張された事をきっかけに、スキーだけでなく、雪を活用した楽しい競技をしてみたい！と思い、地区の人たちと共に雪上運動会を考えたのです。」と語られた。



とって雪は、除雪や雪おろしなどをしなくてはならない苦痛極まりないものでした。しかし、昭和49年、役場や地元の方々のご協力のもと、校庭裏にあったスキー場が拡張された事をきっかけに、スキーだけでなく、雪を活用した楽しい競技をしてみたい！と思い、地区の人たちと共に雪上運動会を考えたのです。」と語られた。

ホウチ
しい足は地-



校庭に広げられた手作り絵札めがけて一斉に奪いあう「ジャンボカルタ取り」

こんな楽しい運動会見たことない！

雪上運動会の最大のメリットは何と言っても、思いっきり飛んで走って転げまくり、心も体も開放できる事！雪の上なので、大あばれしても服は汚れず、けがもしない。また、足が速い人でも、雪の上では勝手が違う。

誰もが1等になれる可能性を秘めている。



雪を鏡餅に見立て、大小11個の器を使い雪を固め、リレーしながら積み上げていく競技。速さだけでなく、美しさも評価される。



競技は9種目。雪を高く積み上げ高さを競う“天までとどけ”や、親子交互にソリを引く“親子ソリリレー”など、いずれも雪上ならではの楽しい競技ばかり。児童はもとより、大人も真剣そのもの！思いっきり走る走る！そして転ぶ転ぶ！ジャンボカルタ取りでは雪の中にダイブしたり、リレーでは雪に足を取られて転ぶ人続出！あちらこちらで雪まみれ！

見ている人からも笑い声や声援が山にこだまし、雪をもとくす熱気だった。



先生手作りのストラックアウト。(雪玉を投げて的を射抜く競技)



最高にうまい栃餅と豚汁！

全競技が終わった後、校庭横で競技を観戦しながら地域の人と保護者が作っていた栃餅と豚汁が、参加者全員(約120名)にふるまわれた。体を動かした後だけに、あったかい豚汁と、きねとうすでついたつきたてのお餅は最高においしかった！



この栃餅、大茅小学校の全校児童が学校裏の田んぼで育て、収穫した餅米を使用。栃の実は、職員室横にある栃の木から採取し、地元雨滝にお住まいの太田春実さんからアク抜きを教わり、初めて作った児童の手作り。このごちそうに参加者全員大感激！



アッ！
あそこまで
こけた！

「雪上運動会は今年が最後？」

最高に盛り上がった今年の雪上運動会。今年初めて参加した方々からは、「すごく楽しいし、今後もぜひ参





加したい」という声が多く聞かれた。
 しかし、大茅小学校としての雪上運動会は今年で終わり。地元の方々からは、「学校はなくなるし、この雪上運動会もなくなると淋しい。これからも、ここにみんなが集まり、雪上運動会が行えたら、地域の活性につながるのに・・・」という声も聞かれた。
 また、スキー場拡張のときに、設計にも携

わった山崎祥次さんは、「この大茅のスキー場は他の地区ではまねのできない貴重な財産。今後も、統合後の小学校の子供たちの冬場の校外活動をはじめ、誰でも気軽に利用できるスキー場として活用していければ」と望んでいる。
 来年もまた、たくさんの人が集まり、みんなの笑い声が聞ければいいですね。



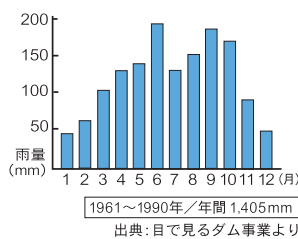
雪はやっがいもの？

雪はもうイヤ!という人も多いかもしれませんが、おやおやどっこい、雪は大切な資源であることをご存じですか。

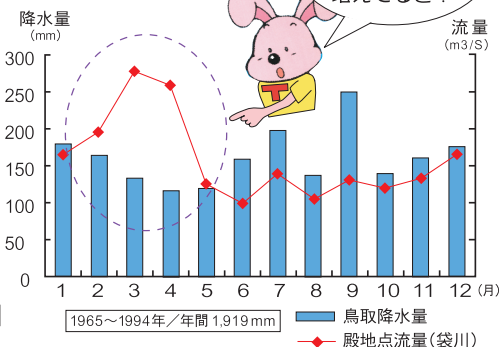
鳥取市の年間総降水量は1,900mm程度で、全国平均の1,700mm程度と比べると若干多い方です。

右のグラフを見てください。東京のグラフと比較してわかるように、鳥取市の降水量の特徴は梅雨や台風時期と同じくらい冬場の降水量が多いのです。

グラフ1
東京の年間降水量



グラフ2
鳥取市の年間降水量と流量



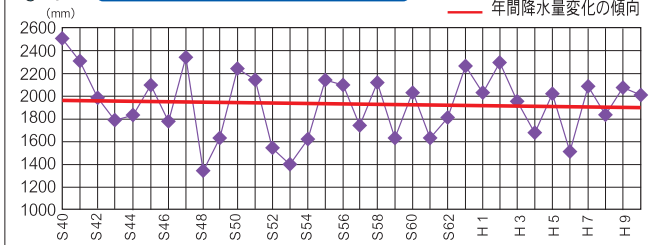
おやおや? グラフ2を見てください。袋川(殿地点)の川の流量(川の水量)を見ると、降水量が多い12月、1月に比べ、流量は春先の3月、4月の方が多くなっていますよ! そこで問題です。

雨が少ないのに、川の流量が多いのはなぜ?

答え 雪解け水があるからです!

この雪溶け水は、田んぼのしろかき期など、たくさん水を使う春先の重要な水資源となっています。

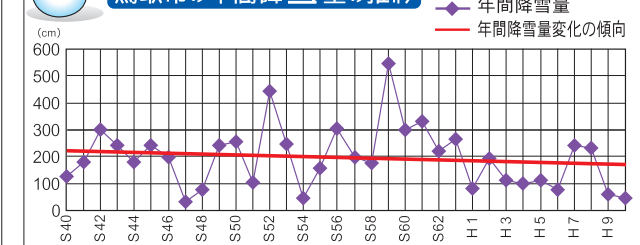
グラフ3
鳥取市の年間降水量の推移



ところで、最近35年間の鳥取市の降水量の傾向を見ると、減少傾向にあります。グラフ3(鳥取市の年間降水量の推移)また、降雪量はどうかというと、これも明らかに減少傾向にあります。グラフ4(鳥取市の年間降雪量の推移)

雪がきは大変だけど、雪は大切な水資源なのです。

グラフ4
鳥取市の年間降雪量の推移



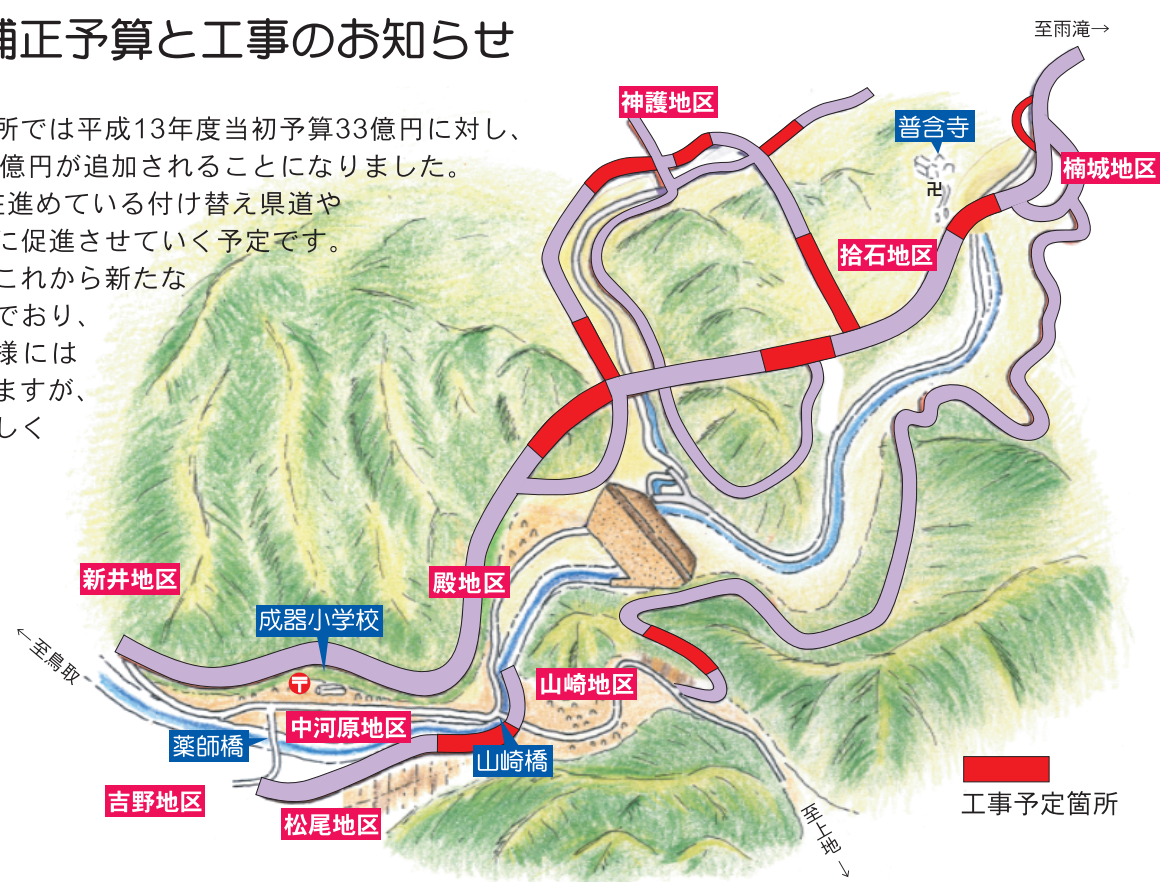
殿ダムは、洪水調節、工業用水・水道用水の確保・発電だけでなく、雪が少なかったり、日照りで雨がなかなか降らなかったりして、川の水量が少なくなった時などに、貯めておいた水を少しずつ川に補給することで、ふだんの川の姿を保全することも、目的の一つとしています。

※鳥取市の年間降水量・降雪量は、鳥取地方気象台の気象管署気象表による。

殿ダム NEWS

補正予算と工事のお知らせ

殿ダム工事事務所では平成13年度当初予算33億円に対し、補正予算として22億円が追加されることになりました。これにより、現在進めている付け替え県道や町道の工事をさらに促進させていく予定です。右図の箇所ではこれから新たな工事発注を見込んでおり、工事中、周辺の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしく申し上げます。



殿ダム建設に伴う

移転者ご家族の今を紹介するコーナー

今回の元気がいな！

山本忠則さん



新居の前にて峯子さんと、忠則さん。

「よその家が解体されよのを見た時は、えー勢いでめがしとるのおと、ひとごとのように思うとりましたが、いざ自分の家が目の前でめがされた時は、一気に涙が出て、その場によーおりませんでしたわいな」と語られる山本忠則さん。

忠則さんで8代目となる山本家の母屋は、築100年以上経つ歴史あるもの。その家で約1世紀過ごされた父親

の保治さん(98歳)は平成12年に他界。またその翌年、後を追うように母親のチカさん(95歳)も他界された。ご両親を殿地区の家でみとり、喪があけるのを待って家を解体。平成13年7月に新居となる国分寺“三郷”に移転された。

長年住み慣れた家の残像が強いせいか、「朝目覚めると、よその家に泊まっているような気がしますわいな」とご夫婦共々いぶかしげ。妻の峯子さんは、「国分寺の方が町に近くて便利ですが、殿に愛着があるもんで、未だに殿に帰りたいな～と思います」と語られた。

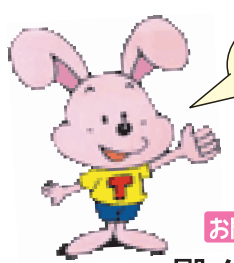
「移転が皆さんより1年近く遅れて、関係者の方々にはご迷惑をおかけしました。また現在、多くのみなさんのおかげで、生活再建ができ始めている事に深く感謝しています。」と忠則さん。現在、孫の有記さんと3人暮らし。ご夫婦共々農業を営まれ、日夜田畑で汗を流されている。



電子入札導入近づく！

現在は、工事の施行業者を決定する事務手続き(入札)を紙の書類により行っていますが、これからは、パソコンの電子メールを用いて、入札を行うようになります。

殿ダム工事事務所では、平成14年度から試行的に一部の入札について実施する予定で、平成15年度からはすべての工事・業務を電子入札で行う予定です。



お便りもお待ちしています！

お問い合わせ&お便りの宛先

国土交通省 殿ダム工事事務所
とのまる通信編集部 宛
〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1221
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>

自然保護の一環として再生紙を使用しています。